

## フランス語と最近のデジタル事情

白石 敬晶

『広島大学フランス文学研究』も 30 号を数えるという。研究会創設時の正会員(大学院生)としては感慨深いものがある。設立の趣旨は杉山毅先生、原野昇先生のご配慮で、主として大学院生の研究発表の場をつくるというものだったかと記憶している。

私もその恩恵にあずかり感謝の念に堪えない。

それから 30 年の時が過ぎたわけだが、フランス文学やフランス語に関連した研究や勉強の環境の変化の大きさは誰もが感じていることだろう。

その最大のものはコンピュータとインターネットの普及にあることは間違いがないと思う。日本におけるインターネットは 1984 年にようやく開始されるので、30 年前は、インターネットはもちろん存在せず、パソコンもまだ一般の学生にはなかなか手を出せるものではなかった。したがって原稿の執筆も手書きや、せいぜいワープロ専用機が当たり前であった。しかし、当時の院生仲間にはパソコン好きがいて、渡部望などは軽自動車くらいの価格であった Macintosh plus という機種を購入して周囲を驚かせたし、中川正弘も後に国際センターの情報化に力を注ぎ、何年かに一度研究会で彼の研究室を訪れるといつも刺激を受けたものだった。

今、この原稿もパソコンで、ワープロソフトを使って書いているが、修正や原稿の受け渡しの労力の違いは歴然である。

せっかくの機会なので、現在フランス語をパソコンやインターネットで使ったり勉強したりするうえでのデジタル事情を以下にまとめてみたいと思う。

### 1. フランス語 (特殊文字) の入力

#### Macintosh

OS レベルでフランス語の入力をサポートしているので、アプリケーションにかかわらず同じキーボード操作でフランス語の入力が可能である。実際のキーボード操作については、以下を参照。(URL については 2011 年 11 月 25 日現在のもの、以下同様)

[http://bonjour.s21.xrea.com/francais/accent\\_mac.html](http://bonjour.s21.xrea.com/francais/accent_mac.html)

また **MacOS X** はインストール時に言語を選択できるので、ハードディスクに別パーティションを用意して、フランス語版をインストールすればデュアルブートにして **OS** レベルで日本語版とフランス語版を使い分けることも可能である。さらに **VMWare Fusion** などの仮想化ソフトを利用すれば、日本語版の **MacOS X** 上で、フランス語版の **MacOS X** を動かすこともできる。これなら **OS** の切り替えに再起動は必要ない。

また、日本語版の **MacOS X** でも標準でインストールされている **Mail** を原稿の下書きに使用すれば、スペルチェックの機能が働いてフランス語入力途中で候補の単語が表示され、綴りの誤りがあった場合はその語に赤の波線がついてそれとわかるので便利である。

## Windows

**Windows** の場合は、**Microsoft Office** 独自の入力方法と、**OS** レベルで設定を変更して、各種アプリケーション共通の入力方法が使えるようにする方法がある。

<http://bonjour.s21.xrea.com/francais/droite.html>

このページにはホームページを作成する際に、正しくフランス語を表示させるための情報も記載されている。

文書作成支援機能など、もう少し詳しい情報については、今年2月にまとめたものがあるので関心のある方は以下を読んでいただければ幸いである。

[http://wstone.homelinux.com/documents/French\\_on\\_Windows.pdf](http://wstone.homelinux.com/documents/French_on_Windows.pdf)

## iOS

最近話題の **iPhone** や **iPad** を動かしている **iOS** では設定でフランス語キーボードを追加し簡単に切り替えてフランス語を入力することができる。この場合、スペルチェックや単語の補完機能もついているのである意味一番進化していると言えるかもしれない。

## 2. 電子辞書

カシオの **XD-B7200** などは「仏和大辞典」や「**PETIT ROBERT**」なども収録し、

以前だと考えられなかった携帯性を実現している。

また、「ロワイヤル仏和中辞典」や「プチロワイヤル仏和・和仏辞典」などはパソコンにインストールして利用できるし、後者は iOS 用のアプリも販売されている。

Web で使える辞書については、次のサイトに詳しい。

<http://gaikoku.info/french/dictionary.htm>

### 3. 語学講座

NHK のラジオ講座「まいにちフランス語」は前週の 1 週間分に限ってストリーミングでいつでも聞くことができるようにしている。

<http://www.nhk.or.jp/gogaku/french/kouza/>

ただし、これを次のツールを使って 1 週間に一度ダウンロードすれば、パソコンだけでなく、iPod や iPhone などのモバイルデバイスにインストールして持ち歩くことも可能になる。

<http://www42.atwiki.jp/cachestream/pages/21.html>

### 4. 「自炊」

コンピュータの用語で「自炊」というのは、書籍や雑誌を裁断しイメージスキャナを使ってデジタルデータに変換することであるが、最近では、オートフィーダー付のスキャナーが手ごろな価格になったこともあり、ちょっとしたブームになっている。手持ちの書籍を裁断する覚悟さえあれば、簡単に pdf 化することができ、しかもフランス語や日本語の OCR と連動させれば透明テキストを pdf に重ねて保存もできるので、検索可能な pdf としてパソコンはもちろん、iPad や iPhone などでも読むことができる。これに上記の電子辞書を使えば、効率的なフランス語の読書が可能になる。